

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・アキュライン	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.0556	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅
[] インチ

PAPからピンとの距離
4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

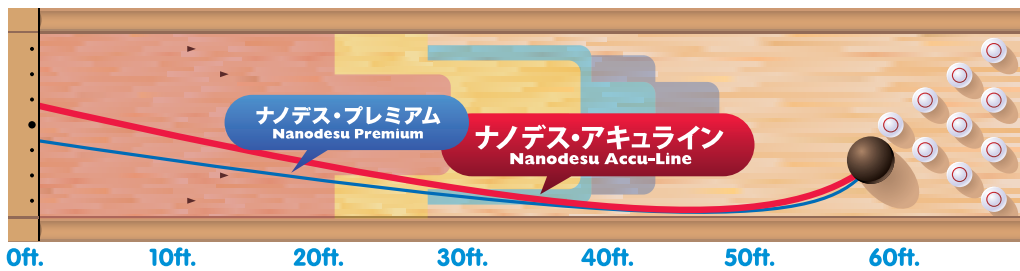
比較対照ボール：ナノデス・プレミアム

フレアーの幅
[] インチ

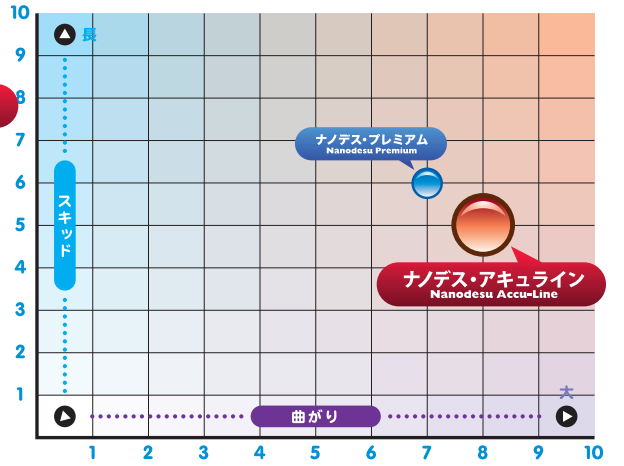
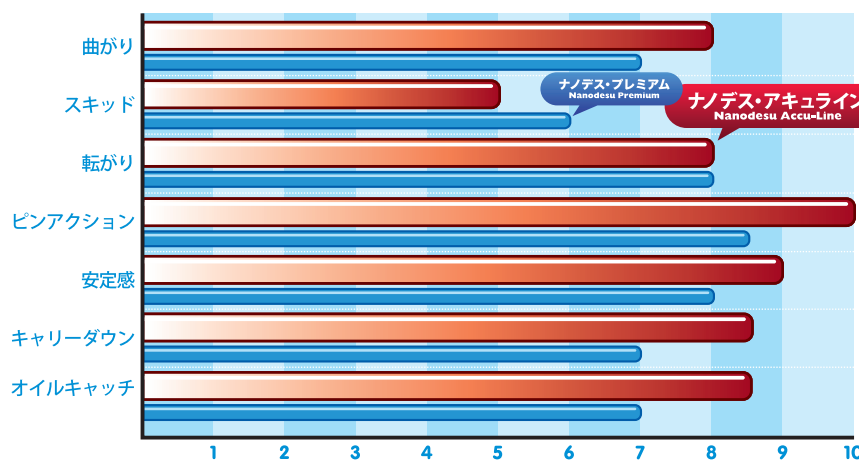
PAPからピンとの距離
4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

現在ではウレタン素材がボールを作る言わば代名詞であり、その素材にさまざまな添加剤等を加えリアクティブやパーティクルといったカバーストックを形成させています。各社からさまざまな性能のボールが発売されていますが「パフォーマンス」と「維持性」のバランスは、まだ多くの課題を残しています。ABSはその課題の解決に予てから現行のウレタン素材からなるボールではなく、**全く違った素材からなるボールに着目し、歳月を費やし、「パフォーマンス」と「維持」を両立できる性能を求め続けました。**このウレタンを使用しない、リアクティブともパーティクルとも分類できない素材の名称は AVEX。パフォーマンスはキャッチ力は強いが、スキッド感のあるキャリアダウンを感じにくいリアクション。ピンアクションに関して今までにこんなボールは存在しなかったとまでネット等でも話題になっています。私が本当に感じて頂きたいのは、この素材になってももちろんパフォーマンスもピンアクションも飛躍的に向上しましたが、**この素材を使用した本当の意味は、耐久性にあるといっても良いでしょう。**今現在では、圧倒的なパフォーマンスのみが先行していますが、パフォーマンスの衰えが他のボールと比べても明らかに遅いのを感じて頂けるはず。私のボールに関しては約300Gほど投球しましたが、**パフォーマンスの衰えは差ほど感じられません。**今でもトーナメントにおける要のボールとして大活躍しています。

特記事項

ABS プロスタッフ約100名の85パーセント以上が、今までに感じてことのない性能の差を感じています。このナノデス・アキュラインは、新たなるテクノロジーへの挑戦でもあります。